

誰もか引き寄せられる“華”について大研究! SMAP5人が登場のお楽しみ特集も!

SMAP SUPER JOURNAL

現在進行形の5人が最強トーク!
& “女の磨き方”集中アドバイス



華のある女になる!!

恋も仕事も引力が大切です!!

好かれる人の吸引力に学べ!
一撃必殺の大技小技25

仕事も人間関係もスマートに!
いまどき職場の花になる方法って?

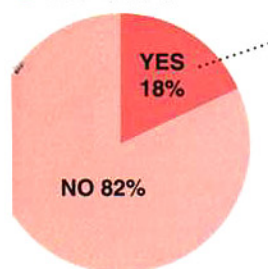
微妙な男ゴコロのツボをつく!
恋に役立つ“引力”の法則

★第2特集
実感で勝負!
秋の進化型コスメ

★第3特集
爆笑問題、アンタッチャブル、春風亭昇太も登場
笑いの効用学

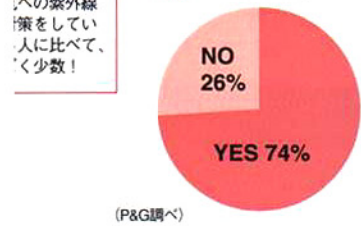
70 yen 特大号 特別定価
06.8.2 No.1522

髪への紫外線対策
していますか?



- トリートメントなどで、ふだんより念入りにケア。
- UVダメージケア処方の入ったヘアケア製品を使う。
- 帽子や日傘を使う。
- 洗い流さないトリートメントを持ち歩いていつでもケア。

Q 肌への紫外線対策
していますか?



肌への紫外線対策をしている人は比べて、く少数!

(P&G調べ)

髪の紫外線対策をデイリーケアに取り入れて。

「肌のことを考えたら、すっぴんで外出するなんて怖くてできないですね。髪も同じレベルで紫外線対策を考えるべき」(松下さん) なんと、いって大切なのは紫外線を浴びないこと。帽子や日傘は肌だけでなく、髪を紫外線から守る意味でも有効なアイテム。また、肌の日焼け止めを使うように髪にも外出前に洗い流さないトリートメントなどでUVダメージ対策を...」

「髪のことを考えたら、すっぴんで外出するなんて怖くてできないですね。髪も同じレベルで紫外線対策を考えるべき」(松下さん) なんと、いって大切なのは紫外線を浴びないこと。帽子や日傘は肌だけでなく、髪を紫外線から守る意味でも有効なアイテム。また、肌の日焼け止めを使うように髪にも外出前に洗い流さないトリートメントなどでUVダメージ対策を...」

紫外線対策メソッド。



トリートメントで紫外線ダメージをするのは何より大切。外出前は洗い流さないトリートメントでUVダメージ対策。

日焼け止めに美白ケア。肌の白さを守るために必死にケアをする。「紫外線は加齢、乾燥とともに肌老化の大きな原因のひとつ。シミやソバカスだけでなく、シワ、たるみといった肌の美しさ、若々しさも阻害します。そういった肌への紫外線の影響に関しては、かなり理解が深いですね」(松下さん) 肌が日焼けするなら髪だって紫外線を浴びていないわけがない。

ところが、髪は日焼けをしても、赤くなったり、ヒリヒリしたりと、肌のように悲鳴をあげることがない。だから無頓着になりがち。左のグラフからもわかるように、髪の紫外線対策をしている人は、こくわずか。

「アンチエイジングの観点からヘアケアはトレンドですが、肌の美白意識の高い人でも髪のUVダメージケアは見逃しがちです。髪のダメージというとパーマやカラーリング、ドライヤーが原因と思っているようですが、実は紫外線によるダメージも深刻です」

髪が浴びる紫外線量は肌の3倍!?

髪が紫外線を浴びる量は肌の3倍といわれています。髪は肌の3倍に紫外線を浴びる量です。

無防備に日差しを浴びた髪は、ダメージの宝庫!

Q 髪に紫外線の影響を感じるのは、どんなとき?

1位	髪がきしんだり、バサツいたりしたとき	59%
2位	手触りが悪くなったとき	35%
3位	髪が変色したとき	33%
!	感じたことはない	24%

「夏の終わりごろになると、毎年髪の状態が悪くなるんです。だから、スタイリング剤を使う量が多くなる」(Emiさん) それは、まさに紫外線のしわざ。「ツヤがなく、手触りがゴワゴワ。枝毛や切れ毛も多い。当然、まとまりにくい。また、髪は表面だけ褪色して色が変わっている。秋になるとスタイリングに時間がかかりますね」(神野さん) みずみずしく、なめらか。毛先まで色が均一、といった理想とする美しい髪とは正反対の状態に。

「髪は主にアミノ酸の結合と水分からできていて、結合が強く、水分バランスがよければ、理想の状態に。ところが、紫外線を浴びれば浴びるほど結合が弱くなり、同時にシャンプーなどで水に触れたときに、分解されたアミノ酸が溶け出して髪の内層がスカスカになってしまふんです」(松下さん) 紫外線を浴びつつ髪が塩素や塩水にさらされるプールや海では、事態はさらに深刻。見過ごしがちだけれど、エアコンによる空気の乾燥もダメージのもと。

思う以上にそのダメージは深刻!

髪にも紫外線対策は不可欠です。

少しでも肌が日焼けしようものなら、大騒ぎ。UVケアをしなければ! 美白美容液をつけなくては! などなど。それが髪となると無頓着。夏の終わりになると髪がバサツいたり、手触りがゴワゴワになったり。それ、紫外線のせいなのに。髪への紫外線のダメージを見逃してはならない!

お話を伺った方々

Emiさん
モデル。'03年エリートモデル。ルック日本大会入賞。美しい髪が印象的。本誌、モード誌などで活躍。趣味は乗馬、ドラム演奏。

神野英幸さん
ヘア&メイクアップアーティスト。モード誌や広告、カタログでも活躍。ミュージシャンをはじめアーティストからの信頼も厚い。

松下令子さん
株式会社DSプロモーション代表取締役。現代女性の美容意識や市場の調査・分析とともに美容業界のマーケティング、プロモーションを行う。